

第3回二宮町総合計画審議会及び二宮町総合戦略検討委員会 会議要旨

日 時 2015年10月19日(月)午後3時30分～午後5時30分

場 所 二宮町役場 2階 第1会議室

出席者 委員17名

後藤伸会長、廣上正一副会長、前田憲一郎委員、柳川駅司委員、蓮實茂夫委員、柏木稔委員、佐藤清委員、岡本康則委員、鄧建夫委員、秋山和紀委員、高須英郎委員、豊田博美委員、駒澤慎一郎委員、岩永岳大委員、稲葉しずか委員、井上岳一委員、菅澤富枝委員

町職員 政策部長

事務局 企画政策課3名

傍聴者 8名

配布資料

- 資料1 『二宮町人口ビジョン骨子(案)』
- 資料2 『二宮町総合戦略骨子(案)』
- 資料3 『二宮町総合戦略の施策・事業に関する提案』
- 資料4 『第5次二宮町総合計画中期基本計画分野別方針骨子(案)』
- 資料5 『アンケート結果結果(一部抜粋)』
- 資料6 『二宮町総合計画・総合戦略町民ワークショップ記録(第1回・第2回)』
- 参考資料1 『人口推計結果 二宮町パタンの比較』
- 参考資料2 『神奈川県地方創生推進会議資料』

会議概要

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 人口動向分析の検討について

委員 : 前回の会議では5つのパターン、今回は4つのパターンとなった。相違点を教えて欲しい。また、国の合計特殊出生率 2.07 を達成する推計値にしたということか。

事務局 : 国及び県が合計特殊出生率 2.07 を達成する推計値としており、国や県の計画を踏まえて策定することを勘案すると、町も 2.07 を達成する計画とする必要があり、国や県よりも遅れて 2.07 を達成する目標としました。

委員 : 現在の人口構造が、子供が生まれる人口構造となっていない。どうやって合計特殊出生率 2.07 や人口増を達成するつもりか。

- 委員 : 何もしない状態では人口が1万4千人まで減少する中、総合戦略の策定が求められているので、この機会に目標を立て施策を実施する必要があるという状況ではないか。
- 委員 : 何もしない状態から人口3千人増やすために、どのような施策を実施するかを検討すればよいのではないか。
- 委員 : 人口の目標よりも出生率を上げることを目標とすべきではないか。
- 委員 : 町内にある空き家に人に定住してもらうためには、社会移動増、人を呼び込む戦略を考えるべきではないか。
- 委員 : 出生率上昇のためには、一人の女性に複数の子供を産んでもらうのではなく、多くの女性に子供を産んでもらうための環境づくりが必要だ。

(2) 総合戦略の課題の検討について

- 委員 : 基本目標1と2がそれぞれ扱う内容が分かりにくいので説明してほしい。
- 事務局 : 基本目標1はまちづくり・地域づくり、基本目標2は人の流れ、基本目標3は出生、子育て関連、基本目標4は雇用をそれぞれ扱っています。
- 委員 : 基本目標4の(1)のKPIに「町内起業人数」とある。町内の実績値はどうなっているか。また、前回の審議会で、町民ニーズにあった店が開店すると良いという話があったが、店が開業することと起業は異なる。起業はリスクが大きいので、他の自治体ですでに成功している人が、町内で新たに店を出すほうがリスクが少なく、指標も新規に開業した店舗数等のほうが良いのではないか。
- 委員 : 基本目標4の再生可能エネルギーの産業化とあるが、再生可能エネルギーに取り組むこととそれを産業化することは別物だと思われる。町として産業化の予定はあるのか。
- 事務局 : 環境への取り組みとして、再生可能エネルギーに取り組んでいくことが必要だと考えていますが、産業化の予定はないため文章を修正します。
- 委員 : 基本目標2の(1)「家族×幸せ」は良くない。諸外国では家族形態にとらわれず子供を生むことを奨励しており、国内でも出生率が高い地域は子育てに親戚や近所の協力が得られる地域だ。
- 委員 : 基本目標1の(4)災害への取り組みは、災害自体が長期的な取り組みであり、今後5年間では終わらないテーマなので、総合戦略にはなじまないのではないか。
- 委員 : 震災後、田舎に移住する若い世代が増えているので、防災をテーマとして上げるのはおかしくないのではないか。
- 委員 : 基本目標3の基本的方向にある男性の労働時間の削減は、考え方は良く分かるが、男性の多くは町外に通勤しているため、町の施策で労働時間が削減されるとは考えにくい。
- 委員 : 男性の労働時間削減の具体的な施策は、啓発活動と書いてあるので良いのではないか。
- 委員 : 総合戦略の具体的な取り組みは、町の現状とかけ離れており、計画を策定しても既存の他計画と同様に絵に書いた餅となるのではないか。もっと現実的な内容としてほしい。
- 委員 : 町内の保育園や学童の質が良くない。教育の質を上げるためには、少し前衛的な内容

を謳っても良いのではないか。また、空き家バンクを設置すべきだ。空き家バンクを設置した自治体には移住者が増える傾向にある。

事務局：現在、空き家の実態調査をしており、その結果を踏まえ空き家バンクを立ち上げる予定です。

委員：p10に自然環境について記述がある。人が住んでいる場所には予算が付くが、人が住んでいない場所には予算が付かないのが現状だ。目標に入れて地域づくりにつながると良い。

委員：基本目標2は、定住だけでなく観光も含まれているのではないか。(4)の自然環境については観光については触れないのか。

委員：近年転入してきた若い世代に聞くと、二宮の自然環境にひかれて転入してきたという声を聞くので、基本目標2(4)では子育てが二宮の自然環境に触れつつ行われると良い。

委員：定住人口と交流人口の両方を考える必要があるのではないか。二宮には旅館は無いが、短期滞在を積み重ねることにより、定住につながることを考えるべきではないか。

委員：基本目標の2と3は、同じ定住促進のための内容で重複しているのではないか。

事務局：基本目標2は定住促進のための取り組みで、基本目標3は子どもを産み育てるための取り組みであり、対象も視点も異なっていると考えています。

委員：地域連携が入っていないように見えるが、取り扱わないのか。

委員：国の戦略で最初に掲げている雇用の創出が無いのは仕方がないが、二宮の特徴を出してほしい。二宮は長寿のまちとして有名なので、長寿に関する事柄を基本目標1に入れて二宮が先陣を切って長寿を特出ししてはどうか。

委員：地域コミュニティについて触れられているが、町でできることは限られており、地区長連絡会と町との意見交換等を行い、地域コミュニティの実情を踏まえた施策を実施してほしい。

委員：県内の他自治体は仕事づくりを重視している例が多い。二宮はベッドタウンなので仕事づくりに関する事柄が少ないのは仕方がないが、骨子の中で一番軸になるものは目標1で良いのか。

事務局：基本目標1の地域づくりを軸としたい。

会長：時間が押しているので、資料3の説明をしてほしい。

事務局：資料3は、総合戦略の施策・事業について後日文書で意見を提出してもらうための書式となっています。書式は任意で結構です。意見提出の際には、必ずどの基本目標に対する意見なのかを明記してください。提出は任意ですが、締切を10月30日とします。

(3) 第5次二宮町総合計画中期基本計画分野別方針骨子(案)について

委員：総合戦略で検討している施策については、中期基本計画の中でも重要度や内容の整合をとるようにしてほしい。

委員：分野別方針3の変更提案によって、残るのは教育部分となると思うが、表記の仕方については、十分に教育委員会と調整してほしい。「児童生徒へのカウンセリングの推

進」についてはこのタイトルでは内容が狭められているように感じられた。また、生涯学習と生涯スポーツとの関係をどう整理するのかや、青少年の育成が統合されたが、生涯学習の施策として重要であるなど、表現に工夫してほしい。

(4) アンケート調査結果について

委員：7頁のグラフが違うものが入っている。

事務局：修正します。

(5) その他

【次回開催日程】

事務局：次回の開催を11月30日（月）午後3時半からとしたい。